

三重県内の道路交通量の推移（令和4年12月）

令和4年12月の主な県管理道路の交通量推移についてお知らせします。

○前月との比較

県内10地点のうち、
7地点で増加しました。最も増加したのは尾鷲でした。
2地点で減少しました。最も減少したのは鈴鹿でした。

○前年との比較

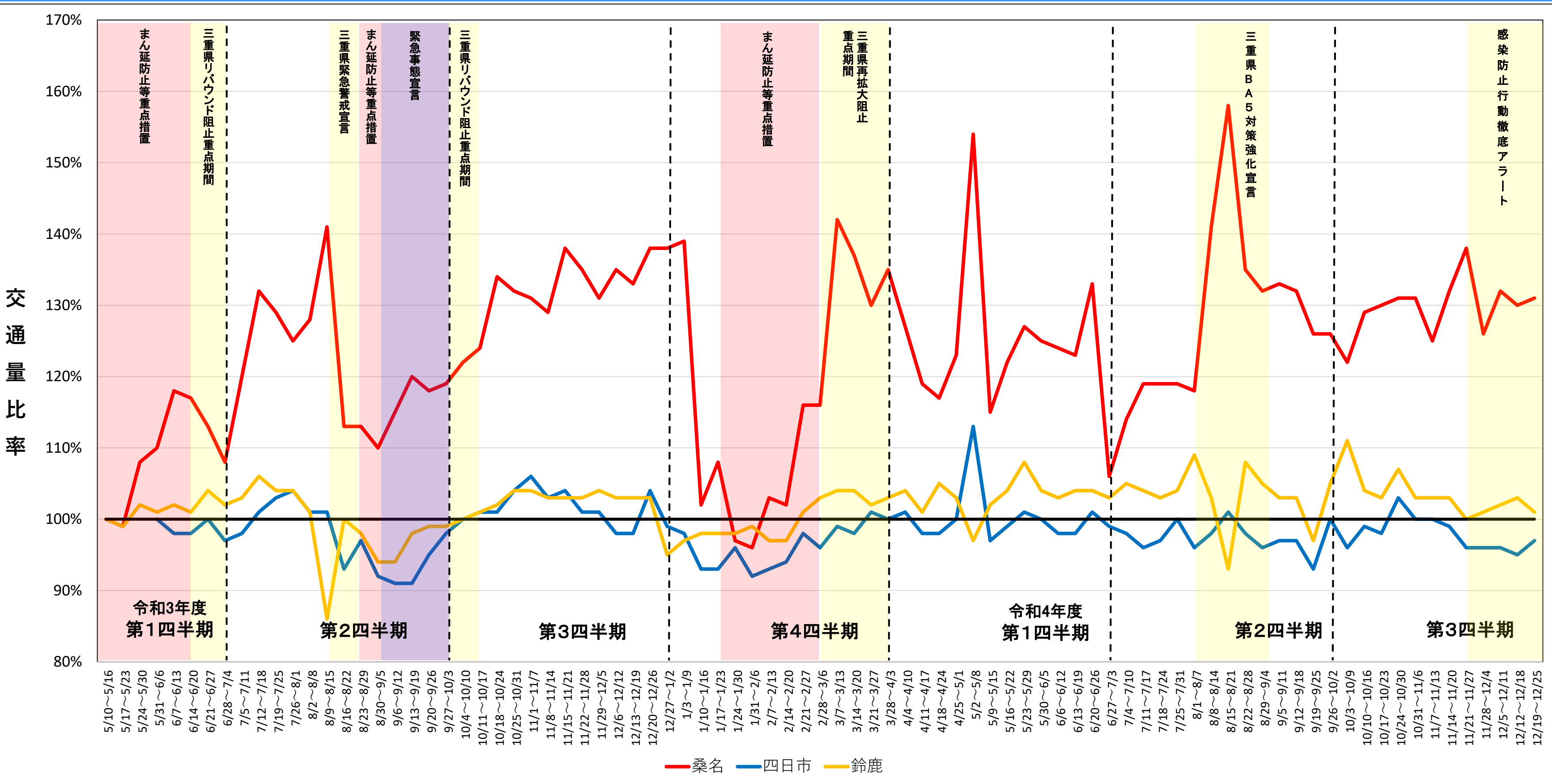
県内10地点のうち、
4地点で増加しました。最も増加したのは志摩でした。
5地点で減少しました。最も減少したのは熊野でした。

<県管理道路> 全車種・全日

地域		設置箇所特性	前月比 (対 R4.11)	前年比 (対 R3.12)
北勢	桑名	観光地周辺	+3%	-2%
	四日市	観光地周辺	-1%	-3%
	鈴鹿	観光地周辺	-2%	-1%
中勢	津	IC周辺	+1%	+1%
	松阪	IC周辺	+5%	+1%
伊勢志摩	伊勢	観光地周辺	±0%	+1%
	志摩	観光地周辺	+3%	+2%
伊賀	伊賀	観光地周辺	+2%	-2%
東紀州	尾鷲	IC周辺	+6%	±0%
	熊野	広域防災拠点付近	+2%	-6%

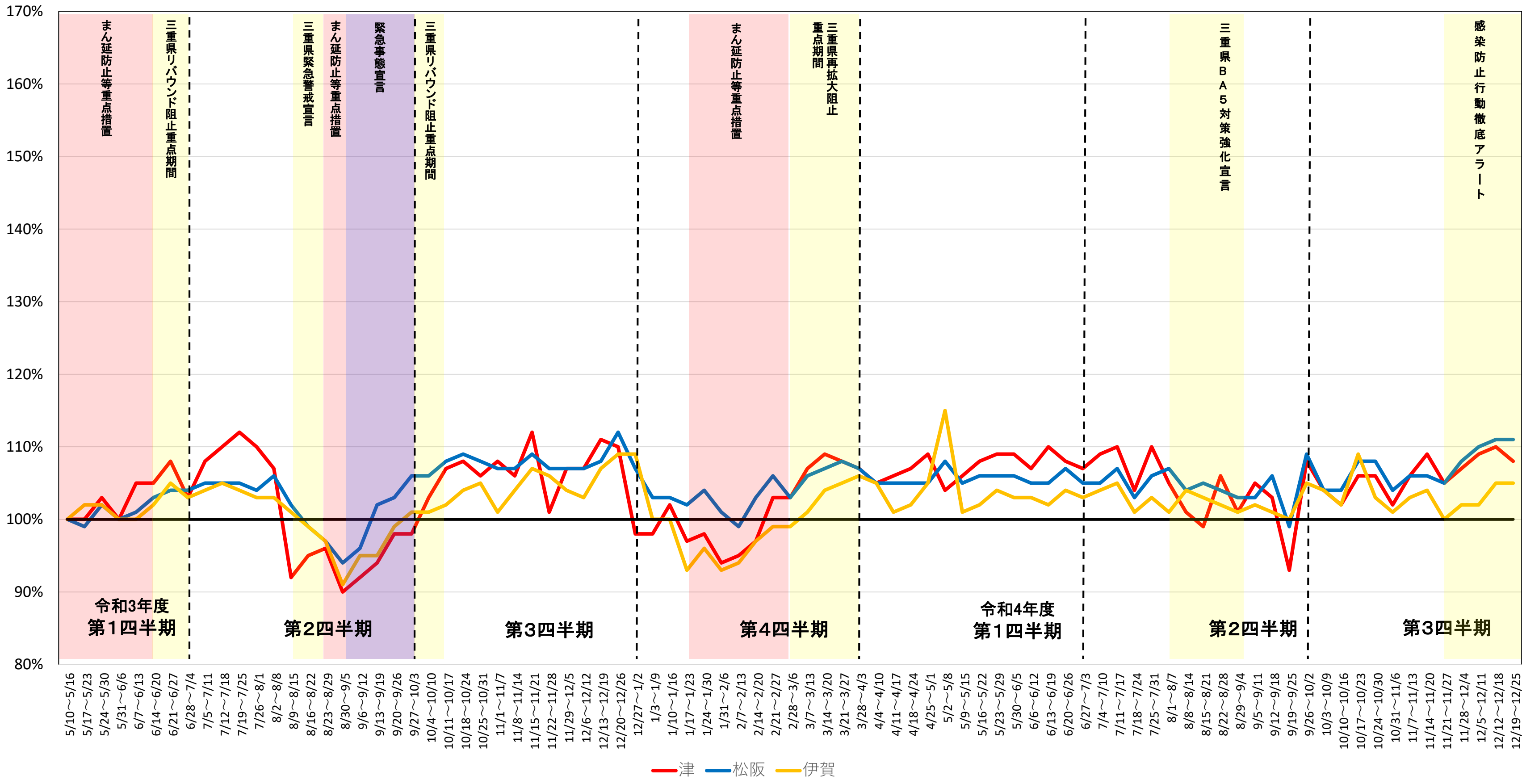
※各月の平均に対する増減としています。

なお、交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています。

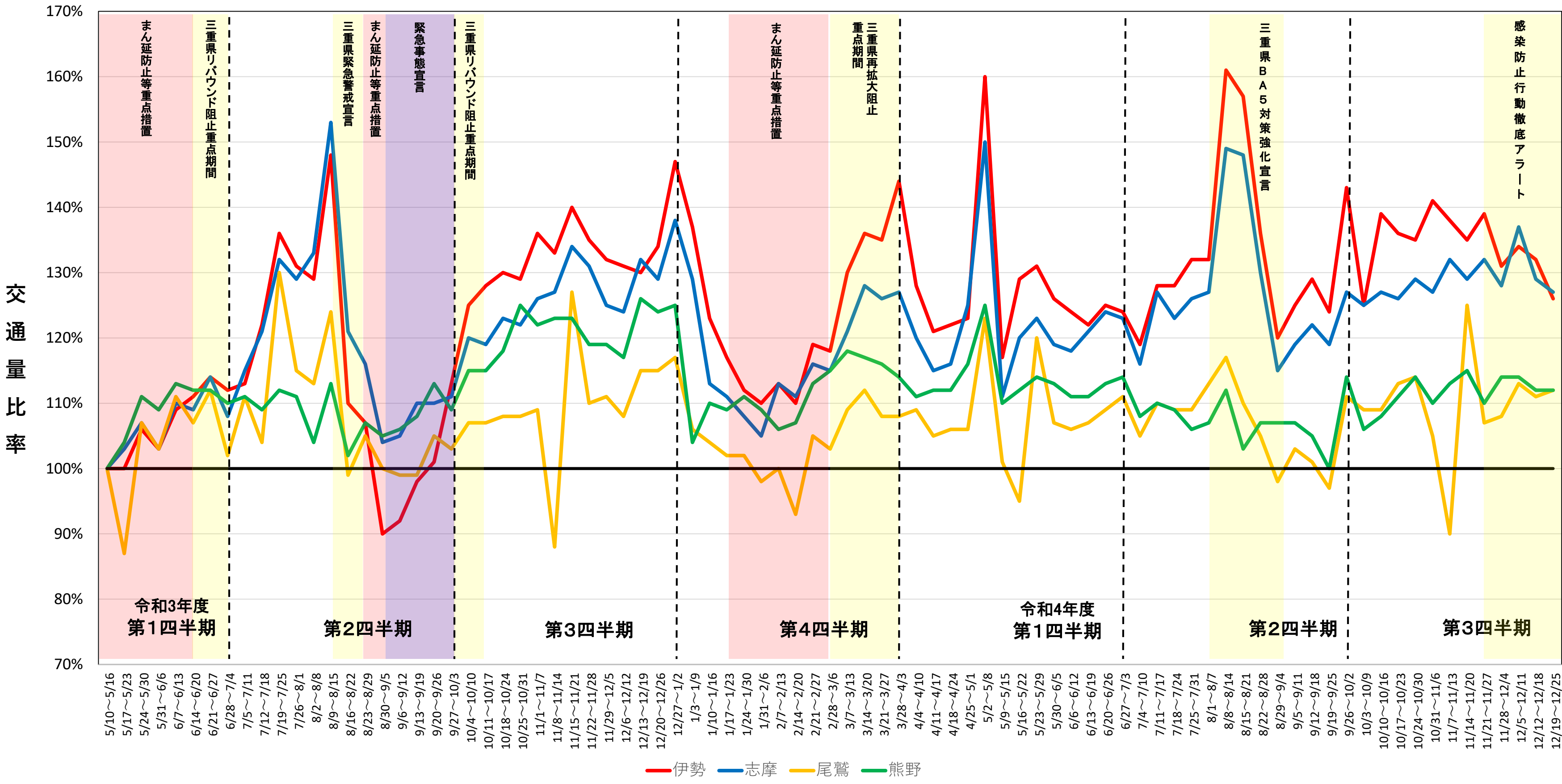


※令和3年5月10日(月)~5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示

交通量比率



※令和3年5月10日(月)~5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示



※令和3年5月10日(月)~5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示
 ※熊野尾鷲道路(Ⅱ期)の開通前の尾鷲の交通量を補正しています